

日本工芸会奨励賞

りん よう すかしぐみ はな かこ きょう そう
輪葉透組花籃「響相」田辺 竹雲斎
葉の形が連なり構成され、存在同士が共鳴し織り
なす響きを表現しました。



日本工芸会奨励賞

かり かね かざり ぼこ は こう
截金飾篋「波煌」中埜 朗子

日の光を受けて輝く波。波は絶えずうねり光を反射
し見る角度によって違う表情を見せる。その風景を
イメージして、箔の直線や曲線で截金ならではの表
現を試みました。



日本工芸会新人賞

かた み がゆり こ ぎれ もん よう し ふく がた て ぼこ
片身替古裂文様仕覆形手箱

須藤 拓

美術工芸の名品に見られる布を模した表現に
挑戦すべく、半身毎に違う裂で作られる片身替
りの仕覆を模した手箱を、赤銅や四分一といっ
た日本の伝統的な合金を用いて制作しました。

現在する伝統を300余点のスケールで一堂に

日本伝統工芸展

大阪展



文部科学大臣賞

とう そ んの わ し ぼり ほし と
桐塑布和紙貼「星取り」

木村 美智子

檜ヶ岳山小屋から仰ぎ見た満天の星の輝
き! 奈良時代、少年が掲げる棒の先にも、
きっとあの美しい星空が広がっていた事だ
ろうと。平城宮跡にて。

2025.10.16^{TUE}-10.21^{TUE}

大阪高島屋7階 グランドホール

ご入場時間＝午前10時～午後6時30分(午後7時閉場) 入場料〈税込〉＝ 一般500円(300円)／大学生以下無料

※最終日10月21日(火)は午後4時30分まで(午後5時閉場) ※()内は前売りの割引料金。前売券は、セブンチケット、ローソンチケットにて10月15日(水)までお求めいただけます。

※当催については、「障がい者手帳・デジタル障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。 ※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。

※都合により、催し内容・会期などが変更または中止になる場合がございます。最新の情報は日本工芸会近畿支部のホームページをご覧ください。

主催＝大阪府教育委員会、NHK大阪放送局、朝日新聞社、日本工芸会 後援＝大阪市 協賛＝パナソニック ホールディングス株式会社

列品解説

10月16日(木)	午後2時〈陶 芸〉石橋 裕史
10月17日(金)	午後2時〈漆 芸〉岸本 圭司
10月18日(土)	午後2時〈金 工〉三好 正豊
10月19日(日)	午後2時〈染 織〉村上 良子 重要無形文化財保持者
	午後3時〈人 形〉満丸 正人
10月20日(月)	午後2時〈木竹工〉宮本 貞治 重要無形文化財保持者
10月21日(火)	午後2時〈諸工芸〉中村 佳睦・渡邊 明

自作を語る

10月18日(土)	午前11時〈人 形〉木村 美智子〈諸工芸〉中埜 朗子
10月19日(日)	午前11時〈木竹工〉田辺 竹雲斎〈金 工〉須藤 拓

特別展示

わざを伝える「彫金」桂 盛仁
重要無形文化財保持者



English
information

The 72nd JAPAN TRADITIONAL Kōgei EXHIBITION

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついで優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると思います。昭和25年、文化財保護法が施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。

このたび、第72回展を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。重要無形文化財保持者、受賞作家、近畿在住作家の作品を中心に、入選作品300余点を一堂に展覧いたします。



日本工芸会総裁賞
がらす じゅうばこ おりばな
硝子重箱「織花」
和泉 香織



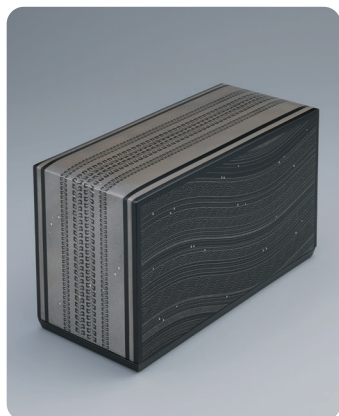
高松宮記念賞
すず しき もの まんよう きたん
生絹着物「万葉綺譚」
神谷 あかね



東京都知事賞
もり かご すい か
盛籃「瑞花」
本田 青海



NHK会長賞
がらす かな ぐ
烏うり 金具
竹花 万貴



朝日新聞社賞
ちん きん ぞう がん ほう せき ぼこ のぞ み
沈金象嵌宝石箱「希海」
水尻 清甫



日本工芸会会長賞
しよくさい はち
織彩鉢
早川 嘉



日本工芸会保持者賞
び ぜんこん こう はくでい か き
備前混淆白泥花器
隠崎 隆一



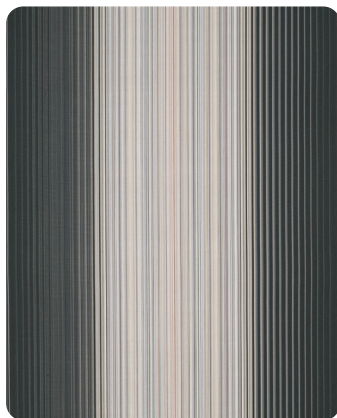
日本工芸会奨励賞
もく はん ずり さら さ きもの ゆうけい
木版摺更紗着物「遊景」
鈴田 清人



日本工芸会奨励賞
かんしつ ろく べんりん か もり き
乾漆六弁輪花盛器
伴野 崇



日本工芸会奨励賞
けやき ふきうるし もり き しゅうこう
櫛拭漆盛器「舟行」
川口 清三



日本工芸会新人賞
こ くら おり おび よいあかつき
小倉織帯「宵暁」
内山 啓大



日本工芸会新人賞
かんしつ きん ま ばこ か こう
乾漆蒔轆轤箱「花光」
鈴木 元子

同時
開催

「工芸の美—未来へ—」

7階グランドホール前 特設会場

第72回展出品作家による暮らしに寄り添う作品を展覧いたします。

お問い合わせ先

公益社団法人 日本工芸会近畿支部

〒604-8183 京都市中京区高倉通三条上 京都府京都文化博物館内

TEL. 075-252-5205

<https://nihonkogeikaikinki.jp/>

